

上森町長 こんにちは。早速ですが、お二人は、ご夫婦と一緒に仕事をされているんですね。

歩さん はい。栽培・配送担当と加工担当に役割を分業しており、私は、地元の方から田んぼや畑をお借りして米や野菜を中心に栽培をし、「わくわく野菜定期便」として宅配サービスをしています。

絵美さん 私は、主人の栽培した野菜やお米や自分で栽培したハーブをジャムやハーブティーなどに加工することを主に担当しています。

上森町長 加工品は、先日能勢町観光物産センターでお見受けしました。観光物産センター以外でも販売されているのですね。

絵美さん 町内ではカフェや施設に置かせてもらっています。町外では、隣の町の豊能町や梅田のグランフロントなどです。百貨店の催事で販売することもあるんですよ。

上森町長 グランフロントでも販売されているのですか？一度行った時に探してみます。ところで能勢町で農業をするきっかけは・・・？

歩さん もともと奈良県の橿原市が地元で、大阪市内で運送業をしていました。今から8年前に能勢町で農業研修生募集をインターネットで見つけて参加したのがきっかけです。野菜の配達サービスは前職のノウハウを生かしています。

上森町長 奥様はどのようなきっかけだったのですか？

絵美さん 大学で環境問題を学んでいたこともあり、農業には興味がありました。それに、自然が好きで田舎暮らしに憧れていました。海外でも勉強し、

日本に戻ってきた際、同じ農業研修生募集を知り能勢町に来ました。そこで主人と出会いました。

上森町長 能勢町の農業研修で知り合われてその後、能勢町に住まれたんですね。

歩さん はい。地元の方の紹介で家と畑をお借りし、最初はあまり大きくない畑でしたが、今では地元の方のご協力もあり、畑だけで合わせて1町ほどお借りしています。

上森町長 1町はかなりの広さになりますね。私も農業をしています。その広さをご夫婦で管理をされるのは大変ではないですか？

歩さん 広い方が色々な野菜を栽培できるのでちょうどいいです。年中野菜を作るようにビニールハウスも建てました。今では年間約60種類の野菜やハーブを栽培し、野菜やお米を使ったジャムは8種類作っています。



絵美さんがつくる「おこめジャム」

上森町長 私は、観光物産センターの社長という立場でもあるのですが、能勢で農業される方が増え、観光物産センターに多くの野菜を出荷していただいで今以上に盛り上げていただきたいですね。

絵美さん 百貨店等の催事で販売をしていると、野菜セットの直接販売に関心のある方がたくさんおられます。全国的にも農業は求められていると思います。

上森町長 そうですね。野菜だけではなく、能勢の名産「銀寄」を推奨して

いますが、栗の栽培をされている方も少なくなってきました。

歩さん 配達の際、能勢の栗を持っていくと喜ばれるんです！昨年からは栗の管理を頼まれ世話をしているのですが思った以上に大変でした。

上森町長 私はずっと能勢町で暮らしているのに栗が珍しいという感覚は薄いのですが、昔から町外の方には喜んでもらえますね。最後になりますが、今後どのような展開をお考えですか？
歩さん これからも大好きな能勢町で継続的に野菜を作り、多くの方に味わってもらいたいです。

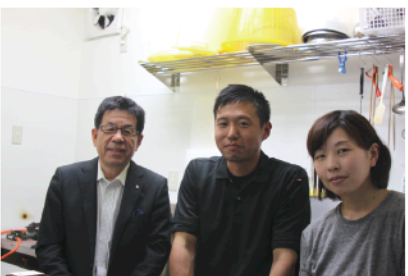
絵美さん ジャムやハーブ加工品だけではなく、クッキーやゼリー、ジュースなどを新たに開発して、能勢町の魅力をもっと発信していきたいです。

上森町長 観光物産センターにも新たな加工品などの出荷をぜひご協力ください。

歩さん 絵美さんこちらこそよろしく願います。

上森町長 本日はありがとうございました。

今回は、植田ご夫妻からご紹介していただいた方のごところへお邪魔します！お楽しみに〜！！



べじたぶるぱーく

左から上森町長、歩さん、絵美さんご夫妻